

第71回 日本PTA 全国研究大会 🍁 広島大会 🍁

変化の時代に向け、PTA自身が学びの変革を！

～見つけ 考え かわろうや ぶち楽しいで！！～広島から全国へ



2023年8月25日（金）～8月26日（土）

大阪府PTA協議会

吉原 極

はじめに、8月25日は小学生の息子の二学期の始まりの日。息子は学校へ、私は8月25日～8月26日にかけて第71回 日本PTA全国研究大会 広島大会に参加してきました。大阪府PTA協議会からは14名の参加でした。

大会初日の1日目、私は特別第1分科会に参加。会場は広島市内のリーガロイヤルホテル広島 4F クリタルホール。研究課題は”世界で活躍する人材を育ために～これからの国際化に対応できる力とは～”でした。この分科会では世界で活躍する人材に焦点をあて様々な角度からのお話がきけました。独立行政法人 国際協力機構 中国センター (JICA 中国) 所長 村岡氏は、”まずはやってみること”の大切さを説かれており、AIC World College 校長 熊谷氏からは国際バカロレアの仕組みと授業中 教員はファシリテーターとなり生徒主導で議論などをおこない授業が進行していくことを説明されてました。そして、最後はパネルディスカッションがおこなわれPTAの立ち位置を再認識させられた時間でした。個人的な感想としては、第1分科会の課題である”世界で活躍する人材とは”、簡単にまとめると能動的に動くことができ、自分自身の考えを他者と共有でき多様性を受け入れることができる人物なんだと感じた大会初日でした。

大会2日目、この日は広島県立総合体育館広島グリーンアリーナにおいて全体会が開催されました。朝の8時半に受付をすませ大阪府PTA協議会はアリーナの中央前の方に着席。歓迎アトラクションは、広島ジュニアマリンバアンサンブルの演奏。子どもたちの演奏はとても素晴らしく広島の朝を明るい気持ちで迎えることができました。着席した場所からは演者の表情をみることができ子どもたちの生き生きとした表情にも癒されました。アトラクションの後は、黒川氏による全体会記念講演。演題は”心のトリセツ～「逃げ癖」を「意欲」に変える脳科学～”。個人的にとっても楽しみにしていた講演でしたが、”人の話は共感で聞く、自分の話は結論から話すなど”、学んだことも多く脳科学について深く考えさせられた講演会でした。日頃、結論から話すなど心がけてますが改めて聞くと客観的に自分自身を見つめ直すことができた素晴らしい機会でした。また、黒川氏は”効果の出せるチームは、心理的安全性が確保されている”とも説かれており、この言葉に深く感銘を受けました。講演は1時間半でしたが、もっと聞いていたいとおもわせる内容で”自らを変えていこうとする意欲がわいてきた” 私にとって大きな意味のある大会でした。

結びに、PTAとしての立場で我々はどう変革していくのか、また自分自身がどう向き合っていくのか、今後の自分自身のPTA活動に大きな影響を与えた大会だと言っても過言ではないくらい非常に意味のある大会でした。最後に広島大会開催に向けてご尽力いただきましたスタッフ関係者皆様に感謝いたします。ありがとうございました。